

南隅地域医療の最前線 コレマデとコレカラ

これまでの現状を知って、これからの地域医療や介護について一緒に考えてみませんか。

●問合せ 錦江町役場 保健福祉課 担当：城下 ☎22-3044



町内7会場でタウンミーティングを開催

9月20日から町内7会場でタウンミーティング（住民座談会）を開催しました。これは、全国でも少子高齢化が進む錦江町において、誰もが安心して暮らせる社会を築くために何が必要か、一緒になってこれからの医療や介護の姿を検討するものです。今回は会場で出された意見や質問の中から、特に多かったものを一部抜粋して紹介します。

12月8日（土）には、医師会立病院施設の現状を知ってもらう施設見学も行います。



タウンミーティングの様子（宿利原会場）

Q1. 医療介護の現状、医師会立病院の現状を聞いて感じたことは？

- 建設した場合の維持費や経費がどうなる？
- 交通手段について
- 建設予定地はどこに？
- 既存の施設は使えないのか（改修など）
- 医師会の積み立ては？
- 病院の紹介制について
- 町民の参加が少ないと感じた
- 非常に厳しい現状を知ることができた
- 近くに総合病院があることが高齢者の支えになる

新病院の建設費はどれくらい？

新たに病院を作るのに、建物や医療器具などにどれくらい経費が必要なのか。町の負担がどれくらいか不安。

将来の錦江町と南大隅町の人口を見据えた病床数130床で試算して、建設費や医療機器等の購入に約35億円程度を見込んでいる。ただし、この費用に用地取得費や造成費、外構工事費等は含まれていない。

紹介状がないと診てくれないの？

病気になったときに医師会立病院に行こうと思っても、病院の紹介状がないと行けない。「地域医療支援病院」という制度のメリットは？

紹介状がないと診れない理由は、医師会立病院が県の地域医療支援病院の指定を受けているため。地域医療支援病院の利点は、地域の開業医の先生方への負担軽減や、病院が医療機器購入時に助成等が受けられることなど。

地域医療支援病院とは？

地域の医療機関（病院や診療所、クリニックなど）からの紹介患者を中心に医療を提供する病院です。地域の「かかりつけ医」と共に医療を提供する制度で、日常の診察は近くの「かかりつけ医」、専門的な治療や入院は医師会立病院と役割を分けています。症状が安定したら「かかりつけ医」に逆紹介します。肝属地区では鹿屋医療センターと2カ所指定されています。